

もっと身近な CAPNA へ

会員の方々に CAPNA をもっと身近に感じていただくために、さまざまなプロジェクトが進んでいます。

このニューズレターと一緒にお手元に届いた「会員証」は、結成 6 年目にしてようやく誕生しました。CAPNA が主催するイベントの際にお持ちください。デザインも印刷も、ホームメイドです。更新が滞っていたホームページ (<http://www2.ocn.ne.jp/~capna/>) も、新しい URL を獲得するとともに、中身も刷新しました。今後も、CAPNA のイベントや書籍の紹介など新しい情報をできるだけ早く掲載していきたいと思えます。

皆様のアドレスをお知らせください

また、会員の皆様への連絡手段として、同報メールの準備を進めております。ゆくゆくはメールマガジンとして定期発行することも考えております。当面は、子どもの虐待関係のテレビ放送、イベントなどのお知らせ用に使います。

登録を希望される方は、管理者・加藤 (katotsu@mvh.biglobe.ne.jp) まで「登録希望」と表題をつけ、お名前、メールアドレスを記入のうえ、メールをお送りください。

キャプナ★ニューズレター

最近、私は吹奏楽団に入り、アルトサクソフーンを吹き始めました。「やるぞ!」の思いにあふれ、下手でも気にせず、いつも楽しく吹いています。でも半年たった今、私は少し欲張りになりました。もっといい音を出したい。皆に喜んでもらえるような演奏をしたい。ウツリするような音色をめざして、今日も練習に励んでいます。音楽で最も感動する瞬間…それは、いろいろな音が一つに重なり、見事なハーモニーを奏でたときだと思います。

CAPNA にはいろいろな「楽器」が集まっています。意見が食い違い、不協和音を出すこともありました。しかし、そういったことを重ねながらも、この 6 年間、私たちは少しずつお互いの音に耳を傾け、一つの音楽を仕上げることができるようになったと思えます。

CAPNA の活動に前例はありません。だから、楽しい。私たちにしかできない、私たちの作品をつくっていきましょう。

今回は同じく広報担当、柿本里佳さんのエッセイです。お楽しみに♪

常務理事 加藤 悦子

Vol. 18

朗読劇 8月5日豊田で再演

昨年 12 月の日本子どもの虐待防止研究会で観衆を魅了した CAPNA 劇団の朗読劇『舞う雪に「さっちゃん」の歌が聞こえる』(祖父江文宏脚本・演出)が、8月5日午後1時から、名鉄豊田駅前の JA 豊田ふれあいホールで上演されることになりました。

豊田市の市制 50 周年関連市民事業として行われる子どもの虐待防止イベントの一環です。ほかに、安藤明夫・CAPNA 常務理事、緒方喜子・中京テレビキャスターの基調講演、豊田虐待防止ネットワークのシンポジウムもあります。定員 500 人(要予約)、入場無料(詳しくは、同封のチラシをご参照ください)。

「虐待」という行為の恐ろしさ、悲しさを心に訴える作品です。ぜひご覧ください。

CAPNAニューズレター18号 (隔月刊2号)

2001年6月30日発行

発行 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち

編集 CAPNA事務局広報チーム

事務局 〒460-0002 名古屋市中央区丸の内1-4-404 TEL052(232)2880、FAX052(232)2882

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~capna/>

結成して6年。CAPNA は実に多くの皆様のご支援、ご協力によって、成長してきました。日ごろは活動に追われ、皆様のお気持ちに、十分にお礼を申し上げる余裕もありません。紙上から、感謝の思いを伝えさせていただきます。そして、CAPNA を支える輪の大きさをスタッフ一同が再認識し、これからの活動の励みとさせていただきます（順不同）。

愛知いのちの電話協会 様

だれにも言えない心の悩みに応じる国際的な電話相談機関で、日本では東京で1971年に発足。名古屋は1985年に開局しました。CAPNAの発足当時から、多大な協力をしていただき、子どもの虐待防止という難しい電話相談のノウハウを固めることができました。

紙上感謝状

国際ソロプチミスト名古屋 様

管理職、専門職に就いている女性の国際組織で、人権と女性の地位を高める活動をしています。国際ソロプチミスト名古屋は1972年に日本で7番目のクラブとして認証されました。

1998年に祖父江理事長が講師に招かれ、寄付をいただいたのをきっかけにお付き合いが始まりました。昨年、私たちが第6回日本子どもの虐待防止研究会・あいち大会（以下、あいち大会）の事務局を務めた際にも、多額のご寄付をいただくとともに、受付担当ボランティアとして多大なご協力をいただきました。上部団体の国際ソロプチミストアメリカ日本リジョン様からも、多額のご寄付をいただきました。

このほか、チャリティーバザーの席上でのCAPNAリーフレットの配布など、多方面にわたるご支援をいただいています。

名古屋IIソソタクラブ 様

国際ソソタクラブは、1919年、アメリカニューヨーク州で、職業を持つ女性たちによって創立されました。

社会奉仕、女性の社会的地位向上に努力される一方、国連NGOの一員として国際理解、親善に貢献されています。

1998年に祖父江理事長が名古屋IIソソタクラブの勉強会にお邪魔したことが縁で、同年と翌2000年に、チャリティービンゴパーティーの収益から多額のご寄付をいただきました。昨年のあいち大会でも、センチュリーホール担当のボランティアとして活躍していただきました。

また、CAPNAのリーフレット作成費用のご寄付など、さまざまご協力をいただいています。

CAPNAを応援してくださる皆様、本当にありがとうございます

東友会ボランティア部会 様

国際ロータリー第2760地区ローターアクト 様

2760地区とは、愛知県内の各ローターアクトクラブの連合体。30歳以下の若者たちでつくる各クラブが、1999年度、2000年度の年間テーマとして「子どもの虐待防止」を掲げ、私たちCAPNAの調査・出版活動にご協力をいただいたほか、虐待防止の勉強会、展示発表、アンケートなど幅広い活動を通じて、虐待防止を自分たちの問題として考えてくださいました。

そして、親団体にあたる各地区のロータリークラブにも、子どもの虐待防止への理解と協力を呼びかけてくださいました。

CAPNAへの寄付をしていただいたロータリークラブの皆さま方にも厚くお礼申し上げます。

東海銀行のOB会「東友会」の一部門で、会員約600人。市民団体への経理事務ボランティアや、さまざまなイベントの応援スタッフの派遣をしています。昨年のあいち大会の開催に向けては、長期にわたるボランティア派遣や、大会準備と会場運営の中心的スタッフとして、活躍していただきました。大会後も引き続き理事としてCAPNAを支えています。また、大会直前と期間中には、大勢のボランティアの方々に案内状の発送、本の販売などに応援していただきました。

一隅を照らす運動東海支部 様

天台宗の総本部が1969年から始めた運動で、伝教大師の精神を現代に生かし、一人ひとりが自らの心を高めて豊かな人間になり、明るい社会を築いていこうという目的。東海支部では、ラオスでの小学校の建設活動などの活動を続けています。CAPNAにも毎年、多額のご寄付をいただいています。

表彰して下さった皆様

私たち民間機関にとって、表彰は大きな励みになります。活動の意義を社会的に評価していただけたこと、賞金をいただけることのどちらも重要です。CAPNAを選んでくださった各団体の皆さまにお礼申し上げます。

- ・名古屋弁護士会 様
- ・朝日新聞社 様
- ・パチンコ福祉応援賞実行委員会 様
- ・名古屋キワニスクラブ 様